

南日本新聞 掲載

令和2年6月19日（金）

コロナ下、熱中症防げ

飲料や冷蔵庫 小中校に寄贈

志布志の有志企画

新型コロナウイルス感染予防に伴う熱中症から子どもたちを守ろう。志布志市の志布志子ども食堂の呼び掛けで集まつた有志が発起人となり、市内の小中学校に飲料水や冷蔵庫を贈った。会員制交流サイト（SNS）を通じて集まつた寄付金で購入した。

内之島郵便局長で、同食堂を運営する田浦大志さん（51）が、フェイスブックやライン（LINE）で5月26日に協力を呼び掛け50の企業・個人が賛同。3日間で約100万円が集まった。

新大隅青年会議所（J-C）も協力し、冷蔵庫5台、スポーツドリンク・経口補水液計約200点を確保。冷蔵庫は中学校5校に、飲料水は小中学校に贈ることにした。

10日は志布志中学校への寄贈があり、田浦さんは「発起人メンバーらが直



志布志中学校に贈られた熱中症対策の寄贈品。志布志市志布志の同校接駆けた。長元武彦校長（56）は「みなさんのおられる気持ちを生徒にきちんと伝えたい。有効に活用したい」と感謝している。

市内の郵便局長らが1週間程度かけ全校に届ける予定。新大隅JCの吉留祐介理事長（36）は「コロナでJCの事業も軒並み中止になっている。アフターコロナを考え、状況に応じた活動ができるから」と説明。田浦さんは

「今後はコロナ感染予防と熱中症対策をダブルでやる必要がある。みんなで同じ気持ちで取り組んでいきたい」と話している。（永野雄一）